

平成28年8月吉日

所属機関長 様
九州各県医療ソーシャルワーカー協会 会員 各位

鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会
会 長 廣 野 拓
第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会
実行委員長 久 永 佳 弘

第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会
開催のご案内 並びに 研究発表演題の募集のご案内

謹啓

残暑の候、貴会におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年11月に開催を予定しております標記かごしま大会の開催準備にあたり、大会1日目の研究発表演題を九州各県に募集いたします。

本大会は、研究発表を5つのカテゴリーに分けます。その中から、各県より3演題以上をご発表くださいますようお願い申し上げます。

なお、発表形式は、口頭発表を予定しております。

ご多忙かと存じますが、貴会職員の皆様方にご案内およびご応募いただきますよう重ねてお願い申し上げます。
謹白

記

1. 大会日程 別紙「大会要綱」をご参照ください。
2. 募集演題数 各県演題、下記のカテゴリーから選択し、3演題以上
カテゴリー1：地域包括ケアシステム
カテゴリー2：就労支援
カテゴリー3：業務改善
カテゴリー4：退院支援
カテゴリー5：ソーシャルワーク実践
3. 締切 ◎発表申込：平成28年9月15日（木曜日）必着
別添「研究発表演題申込書」ご使用ください。
◎抄録提出：平成28年9月30日（金曜日）必着
◎発表データ提出：平成28年11月5日（土曜日）必着
4. その他 詳細は別紙「研究発表原稿執筆要項」ご参照ください。

以上

平成28年8月吉日

所属機関長 様
九州各県医療ソーシャルワーカー協会 会員 各位

鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会
会 長 廣 野 拓
第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会
実行委員長 久永佳弘

第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会の開催について（お知らせ）

謹啓

残暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記「第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会」の概要が正式に決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。

今後、大会内容の詳細決定を行い、あらためてご案内申し上げます予定でございますが、このお知らせをもちまして、貴会の職員の皆様方に事前にご案内、お知らせいただければ幸いに存じます。

かごしま大会を成功させるべく邁進しておりますのでご高配の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会テーマ
2. 第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会日程・会場
3. 第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会 研究発表演題申込書（締切：平成28年9月15日）

<各県協会様へのお願い>

大会1日目の「研究発表」の演題カテゴリーを基に、合計3題以上の発表をお願いいたします。

<お問合せ先>

(大会事務局)

〒891-0403 鹿児島県指宿市十二町2105-1
医療法人 三心会 西田病院 相談室 向吉 恵美
TEL : 0993-22-3352 FAX 0993-22-5154

1. 第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会テーマ

大会テーマ：

『No Limits ソーシャルワークに限界なし』

～つないでいこう 人・地域・心～

<大会趣旨>

超高齢・少子化社会を迎え、医療の高度化や専門分化等が進む中、社会福祉の立場から患者や家族の抱える心理的・社会的問題への解決を援助し、社会復帰の促進を図る役割を担う医療ソーシャルワーカーへの社会の期待は益々大きくなってきている。病院完結型医療から地域完結型医療への転換と、地域包括ケアシステム構築を進めるうえで「医療と介護の連携」や「地域ぐるみの疾病管理」など、地域において支えあう体制づくりが求められている。

今回は、「地域」に視点を当て、地域で支える、地域を支えることを各県の現状と照らし合わせ検討する機会としたい。これにより、多様な改善方法や地域で支えあう体制構築のヒントを得て、今後の医療ソーシャルワーカー業務の発展に役立て、地域社会に対し医療福祉の専門職として参画していくことの意義についても理解することを目標とする。

さらに、4月に発生した熊本地震は多くの方が被災し、想像を超えた被害状況となっている。4ヶ月経った今も復興支援は継続中であり、九州MSW協議会も避難所を中心とした支援を行っている。熊本・大分のMSWの多くは、自らも被災者でありながら、患者・家族、そして地域住民のために日夜活動している。震災を受け、改めて地域における災害支援体制や近隣地域としての対応、我々専門職の連携について考えて行く必要があると痛感している。今回、本大会のサブテーマを「熊本震災復興支援大会」と位置付け、災害ソーシャルワークについても焦点化し、理解を深めていくこととしている。

2. 第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会の日程

開催日		平成28年11月26日(土)～11月27日(日)	
日	時間	内容	
11月26日 土曜日	9時30分～11時30分	九州医療ソーシャルワーカー協議会 九州医療ソーシャルワーカー協議会教育研修部会	
	12時30分～12時55分	開 会 式	
	13時00分～15時00分	基 調 講 演	テーマ：『地域医療ソーシャルワークを志向して ～変化を生み出すチャレンジ～』 講師：村上 須賀子 先生 (日本医療ソーシャルワーク学会 副会長)
	15時15分～17時00分	研 究 発 表	・カテゴリー1：地域包括ケアシステム ・カテゴリー2：就労支援 ・カテゴリー3：業務改善 ・カテゴリー4：退院支援 ・カテゴリー5：ソーシャルワーク実践
	18時00分～20時00分	懇 親 会	山形屋 7階レストラン
11月27日 日曜日	9時00分～11時45分	特 別 講 演	『熊本地震から学ぶソーシャルワーク ～その時、SWは何ができるのか?～』
	11時45分～12時30分	< 昼食休憩 >	
	13時00分～15時00分	分 科 会 中 堅 者 研 修	◎分科会 ① 「コミュニティワーク」 講師 鹿児島国際大学 福祉社会学部 教授 高橋 信行 先生 ② 「ストレスマネジメント」 講師 産業カウンセラー 有村 靖子 先生 ※定員 30名 ③ 「面接技術」 講師 Healing forest 代表 明石 二郎 先生 ※定員 30名 ④ 「病院運営・病院経営」 講師 医療法人祐里会 姉川病院 副理事長・事務部長 折原 重光 先生 ◎中堅者研修 テーマ：「育ちあうために ～解決構築の技法を活用しよう～」 講師 日本医療ソーシャルワーク学会 会長 大垣 京子先生
	15時00分～15時30分	閉 会 式	

その他 大会参加申込・懇親会申込・宿泊申込等の詳細につきましては、後日改めてご案内申し上げます。

第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会の会場
鹿児島大学【郡元キャンパス】 法文学部、教育学部、
〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 TEL：099-285-7111 (代表)

第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会 研究発表演題申込書

申込締切：平成28年9月15日（木曜日）必着

申 込 先：国立病院機構 南九州病院 MSW 前田 宏 宛

FAX（0995）63-0840

研究発表演題申込書

題名	(仮題可)			
発表者	ふりがな			
	氏名			
	職種	MSW・PSW・介護保険施設相談員・介護支援専門員・ その他（ ）		
所属	ふりがな			
	施設/機関/ 事業所名	(所属部署名：) 肩書き・職名 ()		
		主たる業務の領域	急性期・亜急性期・回復期・療養型・介護老人保健施設・ 在宅医療介護・地域連携・その他 ()	
	住所	〒		
	連絡先	電話番号	()	FAX番号
Email				
発表内容の要旨	希望カテゴリー	カテゴリー1・カテゴリー2・カテゴリー3カテゴリー4・カテゴリー5 (開催要綱ご参照)		
	発表の要旨概要を簡潔にご記入ください。(注：抄録等大会誌に記載されるものではありません)			
その他	使用予定機器	使用予定あり (PowerPoint-Windows 版限定)・使用予定なし		
	通 信 欄			

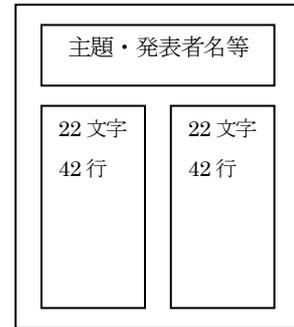
(諸注意)

- * 発表時間は1題10分、質疑応答5分を予定。
- * 題名の変更やカテゴリーの変更がある場合は、必ずご連絡下さい。

第 53 回九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会
 ～研究発表抄録原稿作成要項～

1. 抄録作成上の留意点

- (1) テーマ 5 分類されたカテゴリーの中からお選び下さい。(開催要綱ご参照)
- (2) 作成ソフト マイクロソフト Word により作成願います。
- (3) 原稿の構成
- ①主題
 - ②(必要に応じ)副題
 - ③発表者
 - ④(必要に応じ)共同研究者
 - ⑤発表内容
- (4) ページ数 1 演題あたり A4 用紙 1 枚といたします。
- (5) 文字のスタイル 文字は全て MS 明朝体とします。 (例)
- (6) 文字の大きさ 主題：14 ポイント
副題：12 ポイント
その他：10.5 ポイント
- (7) ページ設定 2 段組、22 文字×42 行
上下余白：25mm、左右余白：25mm
- (8) 発表時間 1 演題あたり 10 分、質疑応答 5 分
- (9) 使用機器 パソコン使用によるウィンドウズ PowerPoint
*スライド、OHP、ビデオ等は対応できませんのでご了承下さい。



【ご参考】～本文の構成～

- ①はじめに (研究目的)：事例や研究に関連した社会情勢や周辺領域に関する動向等
- ②事例紹介 (研究 (調査) 方法)：事例の場合はケース概要が分かるようプロフィール等の説明を行う。
研究 (調査) の場合は対象、内容、時期、実施方法などを説明。図表の活用。
- ③経過 (研究 (調査) 結果)：分かりやすいようポイントを列記。研究 (調査) の場合は集計結果等を記載。
- ④考察：結果を受けて筆者なりに考察する。
- ⑤おわりに (まとめ)：今後この発表をどのように展開していきたいか等。
- ⑥文献：参考とした文献、引用した文献等を明記。文字を本文より 1 ポイント程度落とすと良い。

2. 申込提出の締切・方法・宛先

	申込提出締切 (厳守)	申込提出方法
演題発表 申 込	平成 28 年 9 月 15 日 (木曜日) *各県協会にてお取りまとめ下さい	①FAX による申込 ②申込書の郵送による申込
抄 録	平成 28 年 9 月 30 日 (金曜日) *大会誌印刷の都合上締切厳守願います	①メール送信による提出
発 表 デ ー タ	平成 28 年 11 月 5 日 (土曜日) *ウィンドウズ PowerPoint のみ可	①メール送信による提出 ②CD 等記憶媒体の郵送による提出
<p>【申込提出先】 国立病院機構 南九州病院 MSW 前田 宏 宛 〒899-5293 鹿児島県始良市加治木町木田 1 8 8 2 電話 (0995) 63-0843 FAX (0995) 63-0840 Mail : med@skyusyu2.hosp.go.jp データ送付についてもご不明な点は、上記にお問い合わせください。</p>		

3. ご質問・お問い合わせ・ご意見等の連絡先

かごしま大会実行委員会 事務局 向吉 恵美 〒891-0403 鹿児島県指宿市十二町 2 1 0 5-1 医療法人 三心会 西田病院 相談室 TEL : 0993-22-3352 FAX 0993-22-5154
--